

2016

知の玉手箱

学生向け図書案内誌



Veritas liberabit vos!

※図書館に掲げられている言葉です。探してみてください

『知の玉手箱 2016』編集委員
久留米大学 法学部法律学科

上村 一則



学生の頃、新書や小説を一週間に最低一冊と決めて読んだり、背伸びして古典にも手を伸ばしたり、友人や先輩たちと議論したりしました。本と仲間がいれば、大学や学部の手など自由に超えられることを学びました。

最近では、哲学の開祖と言われるソクラテス関連の本を、4年ゼミで学生諸君と一緒に読んでいます。法科大学院の教育方式は、なぜソクラテス方式(メソッド)と言われるのか知ろうと思ったのがきっかけです。特に、高弟プラトンが、ソクラテスと他者が対話する形で書いた対話篇『ソクラテスの弁明・クリトーン・パイドーン』は、すでに5回ほどゼミで読みました。毎回新たな発見があります。

ソクラテスは、「大切なのは、生きることではなく、よく生きることである」と言って、よいとは何かを真剣に探究した人です。私たちは、自分の知識と経験に照らして自分の頭で考えながら読んでいるうちに、自然とソクラテスと直接対話していきます。ソクラテスは、問答方式で、最後は誰もが各自ノーと言えないところまで問い詰めた上で、それを真理として論理を展開していきます。次々と出てくる反論に対して、自分自身を納得させるためにどこまでも言葉を駆使しようとする強靱な精神が迫ります。読んでいる者に跳ね返ってこざるを得ないその論証過程は、なかなかスリリングで知的な冒険です。

『パイドーン』では、ソクラテスは、無辜の罪で宣告された死刑の執行直前に弟子たちの前で、何と「魂の不死」を証明しようとします。半信半疑で読み進むうちに、いつの間にか引き込まれ、目の前に立つソクラテスの息遣いまで感じるがあります。知を探求し真実を吟味し尽くす先人の魂に出会い、受け継ぐことの大切さを痛感します。それが「魂の不死」かもしれません。ただし、その具体的な意味は各自のものとして投げかけられるのです。

図書館の使い方や本との出会いは人それぞれかもしれませんが、本には著者の魂が込められているものがあります。その気になれば、生き生きとした超一流の師に出会って、一対一で教えられることができます。大学やその図書館はそのためにあるのだと、私は思います。

できることであれば、この小冊子はそのささやかな水先案内となりますように。

CONTENTS

◇『知の玉手箱 2016』発行にあたって

文芸

P03

- 01◆ もう一枝あれかし/あさの あつこ 著
…諫山 晴奈(文学部学生)
- 02◆ 私が愛したMEME(ミーム)たち
いま必要なのは、人にエネルギーを与える物語(ミーム)
/小島 秀夫 著
…桃坂 和侑(文学部学生)
- 03◆ アルジャーノンに花束を/ダニエル・キイス/小尾 英佐訳
…大谷 真生子(文学部学生)
- 04◆ 昨夜のカレー、明日のパン/木皿 泉 著
…吉村 凌也(文学部学生)
- 05◆ 図書館戦争/有川 浩 著
…多田 朱紀保(文学部学生)
- 06◆ 砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない
A Lollypop or A Bullet/桜庭 一樹 著
…福山 瞳(文学部学生)
- 07◆ ルーズヴェルト・ゲーム/池井戸 潤 著
…有岡 祐貴(文学部学生)
- 08◆ 永遠の0/百田 尚樹 著
…高橋 雪奈(文学部学生)
- 09◆ 吹部! /赤澤 竜也 著
…田畑 千夏(法学部学生)
- 10◆ カミングアウト/高殿 円 著
…小竹 結花(法学部学生)
- 11◆ 手紙屋 蛭雪篇/喜多川 泰 著
…與那覇 圭希(法学部学生)
- 12◆ ピンクとグレー/加藤 シンガキ 著
…富村 周平(法学部学生)
- 13◆ パケモノの子/細田 守 著
…野中 克洋(法学部学生)
- 14◆ 鹿の王(上・下)/上橋 菜穂子 著
…今村 卓也(法学部学生)
- 15◆ 三たびの海峡/帯木 蓬生 著
…河内 千栄子(法学部教員)
- 16◆ 検事の本懐/柚月 裕子 著
…河内 千栄子(法学部教員)
- 17◆ マスカレード・ホテル/東野 圭吾 著
…河内 千栄子(法学部教員)

評論・エッセイ

P11

- 18◆ Encyclopedia of Flowers = 植物図鑑
/東 信 著/椎木 俊介 写真
…沈 文霞(留学生別科学生)
- 19◆ 生物学的文明論/本川 達雄 著
…辻本 尚弥(健康・スポーツ科学センター教員)
- 20◆ Walkabout/竹沢 うるま 写真・文
…辻本 尚弥(健康・スポーツ科学センター教員)
- 21◆ 凧の片(なぎのひら)/須田 一政 著
…辻本 尚弥(健康・スポーツ科学センター教員)

社会・政治・経済・ビジネス

P13

- 22◆ 3・11に生まれた君へ/『君の椅子』プロジェクト編
…伊藤 愛莉(法学部学生)
- 23◆ 電気自動車ウォーズ 日産・三菱・トヨタ・ホンダのエコカー戦略
/塚本 潔 著
…陳 ビン(留学生別科学生)

- 24◆ どんな問題も「チーム」で解決するANAの口ぐせ
/ANAビジネスソリューション 著
…百武 伸(法学部学生)
- 25◆ 死刑でいいです 孤立が生んだ二つの殺人
/池谷 孝司 著
…浦河 風音(法学部学生)
- 26◆ 命のボタンタッチ 障がいを負った犬・未来
/今西 乃子 著
…宮崎 俊輔(法学部学生)
- 27◆ ディズニー魔法の会計/秦 美佐子 著
…井上 花々香(商学部学生)
- 28◆ 争うは本意ならねど
ドーピング冤罪を晴らした我那覇和樹と彼を支えた人々の美らゴール
/木村 元彦 著
…辻本 尚弥(健康・スポーツ科学センター教員)
- 29◆ 増補改訂 よくわかる日本経済入門/塚崎 公義 著
…塚崎 公義(商学部教員)
- 30◆ グリーン経済最前線/井田 徹治・末吉 竹二郎 著
…池田 富見子(国際交流センター教員)
- 31◆ 日本の「運命」について語ろう/浅田 次郎 著
…河内 千栄子(法学部教員)
- 32◆ GDP(小さくて大きな数字)の歴史
/ダイアン・コイル 著
…山田 和敏(経済学部教員)
- 33◆ 農林漁業の産地ブランド戦略—地理的表示を活用した地域再生
/香坂 玲 著
…梶原 晃(商学部教員)

言語・教育

P19

- 34◆ 発達障害の基本理解 子どもの将来を見据えた支援のために
(発達障害の臨床的理解と支援 1)
/山崎 晃資・宮崎 英憲・須田 初枝 編
…川鍋 佑太(文学部学生)
- 35◆ ケジメのない日本語(もっと知りたい! 日本語)
/影山 太郎 著
…肖 雯(留学生別科学生)
- 36◆ 英語の毒害/永井 忠孝 著
…島村 恭輔(外国語教育研究所教員)
- 37◆ 英語化は愚民化—日本の国力が地に落ちる/施光恒 著
…佐々木 拓雄(法学部教員)

自己啓発など

P21

- 38◆ 明日を生きる「自分へのメッセージ」
涙の数だけ大きくなる!
/木下 晴弘 著
…宮里 紗菜(文学部学生)
- 39◆ 「忙しい」「時間が無い」をやめる9つの習慣
/和田 秀樹 著
…李 ジュエ(留学生別科学生)
- 40◆ 「弱くても勝てます」開成高校野球部のセオリー
/高橋 秀実 著
…藤田 卓(法学部学生)

ウェブサイトを活用して図書館の達人になろう P23

OPAC(蔵書検索)を使ってみよう! P25

マイライブラリを活用しよう! P26

❖ 女たちの凜とした強さ

諫山 晴奈(文学部学生)

もう一枝あれかし

あさの あつこ 著
文藝春秋

¥1,400 (税別)

児童文学作家でお馴染みのあさのあつこが書いた時代小説である。小舞というまちを舞台とする表題作「もう一枝あれかし」をはじめとして5つの短編からなっている。

それぞれの章で男たちは武士社会で生きるが故に散り急ぎ、残された女たちはさまざまな形で生き抜いていく。特に印象に残った言葉で、「…男たちはなぜもう散り急ぐんでしょねえ。…(中略)男の死によって女は生に繋ぎとめられる。なんだか歯がゆいような、理不尽な心持ちがいたします」というものがある。(「もう一枝あれかし」より)。この言葉から、愛する者の後を追う、一緒に果てようという思いと、自分が果てた後の残された者たちへの憂い、愛する者をいつまでも弔う者がいなくなってしまうという思いで葛藤し、決断する女たちの姿が浮かび、心を打たれた。愛する者に先立たれても凛として生き、またその者のために命を懸けられる、添い遂げようという気概は今の自分にはなく、到底真似ができないことだと思った。女たちが持つ「凛とした強さ」が印象的な一冊である。

❖ あなたの心に残るMEME(物語)がきっと見つかる

桃坂 和侑(文学部学生)

僕が愛したMEME(ミーム)たち

いま必要なのは、人にエネルギーを与える物語(ミーム)

小島 秀夫 著
メディアファクトリー

¥1,600 (税別)

「メタルギア」シリーズの監督で知られる世界的ゲームデザイナー小島秀夫が本や映画などのMEME(物語)を語るエッセイ集である。本書は主に小説などのMEMEを語る第一章、著者に影響を与えたあらゆるものを語る第二章、著者と小説家などとの対談の第三章、著者のメッセージを描いた第四章からなる。

「刑事コロンボ」などの映画、「宇宙戦艦ヤマト」や「天才バカボン」と言った誰もが知っているような漫画・アニメも登場する。さらに作品ごとに批評のスタイルを変えており、読んでいて飽きない。著者自身が作品を深く読みこんでいるため、作品一つ一つに対する考えが深く、著者の「本を読もうよ」というメッセージが聞こえてくる。ゲームデザイナーの書評といって甘く見てはいけな。本をあまり読まない人、すでにたくさんの本を読んでいる人でも楽しめる本である。面白い物語に出会いたいなら一度この本を読んでみるべし。

涙なしで読めますか

大谷 真生子(文学部学生)

アルジャーノンに花束を

ダニエル・キイス/
小尾 芙佐 訳 著
早川書房

¥1,500 (税別)

この本は半世紀にわたり、世代を超えて愛されてきた物語である。

主人公は32歳にして幼児なみの知能しかないチャーリー・ゴードン。ある日、彼のもとに頭を良くしてくれるという話が舞い込んでくる。この話にとびついたチャーリーは、白ネズミのアルジャーノンを相手に検査を受ける。手術を受け、少しずつ彼の知能は向上していく。しかし、天才となった彼の前には以前にはない感情や真実が待ち受けていた。

この本は、主人公のみの一人称で話が進んでいく。主人公にとって、天才になることは、本当の彼の幸せだったのだろうか。ありのままの、本当の自分に幸せはないのだろうかと考えさせられる。もう一つ注目すべきなのは、素晴らしい内容もだが、日本語訳だ。日本語のひらがなと漢字、ときに誤字などをあえて混ぜ、知能向上を読み手に体感させている。

読み終えれば、不朽の名作と言われる理由がわかる。幸せとは何か、一人ひとりのその感動が心に刻まれるだろう。

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

読んだ後に心が温まる本

吉村 凌也(文学部学生)

昨夜のカレー、明日のパン

木皿 泉 著
河出書房新社

¥1,400 (税別)

この物語の中核となる人物は25才でこの世を去った一樹とその妻テツコ、一樹の父であるギフの話です。この三人のことを中心に話が進んでいくのですが、場面が変わるごとに主人公が変わるオムニバス形式で、場面ごとの主人公(登場人物)の短編連作のような作品です。様々な人物の視点から一つの物語ができています。

夫が亡くなった後もギフとの同居生活を続けるテツコは、少しずつ夫の死を受け入れようとしていく。その生活の中で様々な人たちの何気ない会話はホックリしていて、見ていてとても心地よくなるものがあります。ところどころに笑いあり涙ありという部分があり、本文中やあらすじにある「悲しいのに幸せな気持ちにもなれるのだ」という言葉の意味が読んでいてよく心に響きます。

2014年本屋大賞で第二位になった作品で、著者である木皿泉自らの脚本でドラマ化もされた作品です。気分が沈んでいたりするときに読むと元気を貰える作品です。もちろんそうでない人達にも手に取って読んでもらいたい一冊になっています。本を読んでみて興味が湧いた人は、ドラマの方もチェックしてみてください。

言語・教育

自己啓発など

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

今を頑張りたい人へ

多田 朱紀保(文学部学生)

図書館戦争

有川 浩 著
メディアワークス、角川文庫(発売)
¥1,600 (税別)

舞台は、公序良俗を乱し、人権を侵害する表現を取り締まる「メディア良化法」という法律ができ、30年経った日本です。2019年(正化31年)、高校時代に出会った、図書隊員を名乗る「王子様」を追い求め、行き過ぎた検閲から本を守る組織、図書隊に入隊した一人の女の子がいました。図書隊とはその名の通り、本を守るために武器を使う、今でいう自衛隊の様なものです。その中で男にも勝る身体能力を持った主人公の笠原郁は、愚直に頑張る情熱が認められ、エリート部隊に配属されます。そこでは、郁が図書隊に反対する組織にさらわれたりするなど様々な事件が起こります。そして本書の最後に、郁の王子様の正体が明らかになるのですが、意外な人物で驚かされます。

「正化」というのは、平成という年号を決める際に候補に挙がった一つで、もしかしたら図書館戦争のような未来もあったかもしれません。本作には恋愛要素もありますが、頑張っている人が沢山出てきます。「夢に向かって頑張ろう」・「今を頑張ろう」と思えるような、勇気づけられる本です。

読み終えた後にグサリとくる話

福山 瞳(文学部学生)

砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない

A Lollipop or A Bullet

桜庭 一樹 著
富士見書房
¥1,400 (税別)

自立するため現金という「実弾」を日々考える中学生のなぎさは自分を人魚と名乗る謎の転校生、海野藻屑と出会う。「空想」という砂糖菓子の弾丸を撃つ藻屑を最初は嫌っていたが徐々に関係を築いていく。

ある日スーパーで藻屑と藻屑の父、海野雅愛を見つめる。何を買いにきたのか尋ねると「お父さんが飼っていた犬のポチのバラバラ死体を作るために銃を買いに来たんだ」と言う。それが本当か確かめるためなぎさは藻屑を連れ、山へ確認しに行く。山には藻屑の言う通り、バラバラになった犬の死体があった。月日が経ったある日の夜、なぎさは藻屑が幼少期から現在にかけて雅愛に虐待を受けていたことを知る。そこから二人で家出の計画を立て、なぎさは藻屑の家で待っていた。が、一向に出てくる気配がない。家の中を探してみると最近使われた形跡のある血だらけの銃があった。藻屑は雅愛にポチと同じようにバラバラに殺されていたのだ。

親を愛して慕って殺された。虐待は本の中だけではなく現実起こっている出来事。雅愛は藻屑への愛が暴力を振るうことだと考えていたように思える。バラバラ死体や虐待などグロテスクな表現が多いが、桜庭さんの独特な文体で表現されている。現代の児童虐待に対して訴えかける、そして愛とは何か、大人とは何かを考えさせられる物語だ。

最後までハラハラ

有岡 祐貴(文学部学生)

ルーズヴェルト・ゲーム

池井戸 潤 著
講談社

¥1,600 (税別)

中堅メーカーの青島製作所は技術開発に長けているが、不況からの業績の悪化でリストラをはじめ、名門だった野球部も廃部の危機になっていた。さらにライバル企業からの買収や役員の対立、銀行から融資が受けられないなど様々な難題が押し寄せてくる。経営陣の苦悩と野球部のメンバーの苦闘の同時進行で描きながら、都市対抗野球東京代表をかけたライバル企業の伊ツワ電気との地区大会決勝戦へと話は持ち上がっていく。はたして青島製作所は生き残れるのか。野球部はどうになってしまうのか。

セリフや場面構成などがうまく書かれており登場人物の心情や表情などが伝わってくる。最後のクライマックスまでの話のつながりがうまく、最後までハラハラする展開で、とても面白かった。またスポーツ小説と企業小説が混じったような内容なので、飽きずに読むことができる。終わり方がとてもスッキリするような内容なので、また読みたいと思う本だと思います。

「死ぬ」よりも「生きる」

高橋 雪奈(文学部学生)

永遠の0

百田 尚樹 著
講談社

¥876 (税別)

本書は、終戦60年目の夏に大学生の健太郎と、姉の慶子が、特攻で命を落とした祖父・宮部久蔵について調べていくことから始まる。かつての戦友や、部下だった人たちへのインタビューを通して、宮部久蔵という人物の謎を明かしていく構成になっている。

「海軍一の臆病者」など、悪い話ばかり上がる宮部久蔵。しかし、調べるにつれて彼は妻と交わしたある約束を守るために、自らの命を守っていたということが分かる。なぜ、誰よりも命を惜しんでいた彼が、志願制の特攻で命を落としたのか。記憶の断片が揃うとき、明らかになる真実とは何か。

本書に登場する宮部久蔵という人物は、あくまで架空の人物ではあるが、インタビューで語られる話はノンフィクションに近いので、よりリアルに当時の時代が描かれており、そこが本書の魅力の一つだと言える。国のために命を捧げることが当たり前だった時代。そういう時代においてなお、「生きる」ことを望んだ宮部久蔵。現代でも、「誰かのために死ぬ」ということはとてもすごいことだと思われるが、本書を通じて本当に大事なものは「誰かのために生きること」ではないのかと考えさせられた。

❑ 笑いあり、涙あり

田畑 千夏(法学部学生)

吹部！

赤澤 竜也 著
飛鳥新社

¥1,300 (税別)

東京都立浅川高校2年生・鍋木沙耶の所属する吹奏楽部は、つぶれかけの状態であった。そんな中、吹奏楽部に三田村昭弘(通称ミタセン)がやってきた。ミタセンは空気を読まない子供のような大人だが、音楽に関する感性は人一倍で天才的な音感を持っている人物だ。そんなミタセンにより、全国コンクール金賞という無茶な目標を掲げられることになる。

あなたは今、どのような人生を歩んでいるのでしょうか？一人ひとりの性格は違う。それぞれが抱えていることもある。壁にぶちあたって上手くいかないこともある。それでも、私たちは周りの人達と成長していつている。私はこの本を通してそう感じました。

この本は、笑いもあり！涙もあり！な青春小説です。私は普段本は読まないのですが、「吹部！」は笑いもしながら感動し、共感もしながら読むことができました。普段本を読むことがない人にも楽しみながら読める小説です！あなたにも、きっと共感することがあるでしょう。是非、あなたの心で、この本を感じてみてください。

❑ 新しい道を作ろう

小竹 結花(法学部学生)

カミングアウト

高殿 円 著
徳間書店

¥590 (税別)

この本の内容は、心の内に人には話すことができない悩みを持った人々が、「これを話すことで何が変わってしまうのか」「打ち明けることで手に入らないものがあるのなら黙っていた方が良いんじゃないか」などと葛藤を繰り返しながらもカミングアウトを決意するというものです。反抗期は誰でも経験があると思います。そんな時自分のことだけしか考えていませんか。相手のことを考えたことはありますか。親も嫌がらせの為に言っているのではありません。世の中には、自然に決まりのようなものができあがり、そこから外れると「悪い子」のような認識をされがちです。決まりに従おうと必死で反発が生まれてしまうのです。ただ反抗するだけでなく、思い切ってカミングアウトしてみませんか。変わってしまうこともあるかもしれませんが、しかし、新しい道を作ることができるかもしれません。ぜひ読んでみてください。

何のために勉強するのか

與那覇 圭希 (法学部学生)

手紙屋 蛭雪篇

喜多川 泰 著
ディスクヴァー・トゥエンティワン
¥1,500 (税別)

誰かに「勉強って何のためにするの?」って聞かれると、「良い大学に入るため」とか「将来大きな会社に就職するため」など、人によって様々な意見があると思います。この本は、高校二年生の和花が、就職か大学進学かで進路について悩み始めた時に、同じような疑問を抱くことから物語が始まります。

和花は、兄の浩一に相談します。すると十通の手紙のやり取りを通じて人生の手助けをするという「手紙屋」を紹介されます。手紙屋との手紙のやり取りのなかで、手紙屋の勉強に対する独自の考え方に触れた和花は、徐々に自分の勉強する意味を見出していき、自分の進路と向き合っていきます。

受験や進路で悩んでいる人、そうでない人も、いろいろな年代の方にこの本を読んでみてほしいです。必ず「勉強をすること」について考え方が変わると思います。

それぞれの孤独

富村 周平 (法学部学生)

ピンクとグレー

加藤 シゲアキ 著
角川書店
¥1,238 (税別)

親の都合で大阪から横浜に引っ越してきた大貴は、同じマンションに住む同級生の真吾らと出会う。中学・高校を共に過ごした大貴と真吾は駅でスカウトされ読者モデルを始める。やがて真吾がエキストラとしてドラマに出演すると、主演と真吾が絡むシーンが番組プロデューサーに認められ、真吾は連続ドラマへの出演が決まる。真吾の芸名「白木蓮吾」は有名になり、仕事がない大貴との仲に距離が……。5年後、同窓会で真吾と大貴は再会し、酒を飲んで少し距離が昔に戻った気がして二人で会う約束をし、約束どおりに大貴が真吾のマンションを訪ねると、大貴宛の遺書と六枚の遺書を残し、首を吊っている真吾がいた……。それから一年後、大貴は真吾の生涯を綴った映画への出演を決意する。それをきっかけに自分と真吾の空白の5年間に何が起こっていたのかを知る。

この本は、大貴と真吾の孤独を綴った、ちょっと切ない小説である。

どこかに居場所がある

野中 克洋 (法学部学生)

バケモノの子

細田 守 著
KADOKAWA

¥560 (税別)

一人ぼっちの少年、蓮。彼は母を交通事故で亡くし、叔父さんに引き取られることになっていたのだが、「一人で生きていく」と言い、外に飛び出して渋谷の街でその日暮らしをしていた。そんなある日、高架下で過ごすことにして休んでいると、二人の男が近づいて来る。片方の男に声をかけられ、見るとバケモノのような顔。「おめえー、俺と一緒に来るか?」。熊徹との出会いだった。それからバケモノの世界に迷い込み、熊徹の弟子となって修業の日々が始まる。二人は事あるごとにぶつかり合うが、少しずつ絆が芽生える。互いに刺激し本当の親子のように成長していく。この本は、自分の存在が意味のないものだと感じても、必ずどこかに居場所があることを教えてくれます。

生と死の意味

今村 卓也 (法学部学生)

鹿の王(上・下)

上橋 菜穂子 著
KADOKAWA

各¥1,600 (税別)

ファンタジー小説がニガテと言う人もいるかもしれない。しかし、この本はそんな人たちに読んでほしい。極端な言い方をすれば、この本はファンタジー小説でありながらそれを否定していると言える。そう、この物語は揺るぎない事実を幻想世界に取り込んだ物語である。

舞台は、ある岩塩鉱。そこには、ある巨大帝国により、奴隷となった人間達が囚われていた。あるとき、そこで謎の病が広がる。それは、獣に噛まれることでかかる病気で、感染者は必ず死ぬ。しかし、一人の男だけは死ななかった。男はその病で妻子を失い、仲間の死体を前に足枷を引きちぎり逃亡する。彼は治療法を見つける為奔走する。

家族、歴史、医学、社会・・・読む人の関心によって、感動の仕方が異なってくるかもしれない。だが、どの入口から入っても、読み終える頃には、「なぜ生まれ、そして死んでいくのか」と考えるだろう。この本を読んで自分なりの考え方を見つけてみてほしい。

3度目の海峡に突き動かしたものは

河内 千栄子(法学部教員)

三たびの海峡

帯木 蓬生 著
新潮社

¥750 (税別)

先の戦争で朝鮮半島から強制連行され過酷な労働に従事させられたことは、皆さんも何となく知っているかもしれない。この小説はそんな人たちの一人、17歳の河時根(ハー・ジングン)が受けた「過酷」な炭鉱での強制労働、いわれなき差別、そして悲恋の話である。労働者に対する日本人、そしてその日本人に雇われた同胞の上司の「非情」な扱いは、読者の心を揺さぶる。このようなことが朝鮮半島では怨嗟として、やはり後世まで語り継がれるのだろうかと思わざるを得ない。しかし最後に「生者が死者の意志に思いを馳せている限り、歴史は歪まない」と河時根が語る。驚くことに、本書は日本人によって書かれ、吉川英治文学新人賞を受けたことだ。書名の「三たび」とは、甘言で福岡直方の炭鉱に連行された時、日本人の恋人とプサンまで密航で帰国した時、そして、成功した老実業家として再び、直方を訪れた時である。最後の三たび目に主人公がやったことは…

事件の事実ではなく真相を描く

河内 千栄子(法学部教員)

検事の本懐

柚木 裕子 著
宝島社

¥1,429 (税別)

強引な取り調べ、虚偽の調書などによって検事を批判的に扱った本が多いが、本書では、そのような検事の中にも保身を捨て、正義・真理を追究する検事を、淡々と描いている。主人公、佐方は身なりなど構わず、徹底的に資料を読み込み、現場に赴き調査し、年功序列が厳しい世界で上司にも正論を吐く。そして無駄口が少なく、どことなく陰のある人物でもある。その陰は、主人公が少年のとき、弁護士であった父が顧問をしていた会社の金を横領し実刑判決を受け、出所前に病死したことからくるのだろうか。なぜ、父は最後まで黙秘を続けたのか。高校生となった主人公は父の本懐を知ることになる…。このような検事ばかりであれば、冤罪も無くなるだろう。同じく、検事との闘いを描いた村木厚子氏の「私は負けない! 郵便不正事件はこうしてつくられた」の本と一緒に読むことをすすめた。

タイトルに込めた意味とは

河内 千栄子 (法学部教員)

マスカレード・ホテル

東野 圭吾 著
集英社

¥1,600 (税別)

殺人事件が予想された都心の高級ホテル。フロントのベテランである尚美と、にわかホテルマンとして潜入捜査する新田。対照的な二人の前に、さまざまな人物が客として登場し、もしや殺人事件と関係あるかもしれないと振り回される。おもしろいのは、通常知りえないホテルの裏側、思いもかけない泊り客や結婚披露宴の段取り、そして、一流ホテルクラークとしてプライドを持つ尚美とエリート警官、新田の対立。なかなか犯人像がつかめない中、ついに明らかになった時、尚美に危険が…。

本書のタイトルは、この舞台のホテルの名前ではない。「マスカレード」の意味は辞書で調べてみよう。そして著者がなぜこのタイトルをつけたのか、本書を読んで見つけよう。将来の進路として、ホテル業界、警察関係に興味がある人におすすめ。読書が苦手だという人は、まず東野圭吾の本から始めてみては？

花束のような美術本

沈 文霞 (留学生別科学生)

Encyclopedia of Flowers = 植物図鑑

東 信 著 / 椎木 俊介 写真
青幻舎

¥3,200 (税別)

初めてこの本を見たとき、美しいカバーにまず心を奪われた。本を読み始め、たった一瞬でその美しい生命たちに惹かれた。

『Encyclopedia of Flowers』、この本に掲載された写真のほとんどは、黒を背景にして撮影されている。もともと花に対するイメージは美しく、柔らかなイメージだが、そのような写真を見ると、意外に別の花の魅力的な特徴が出ているように思う。

花の香りは表現されてはいないけれど、花の美しさは少しも軽減されることなく、表現されている。反対に、柔らかな花と黒い背景が補完しあうことで、底知れぬ生命力が感じられる。このコントラストが他の花の本とは異なる点である。

1,600種の花が撮影されていて、本の最後に花名のリストもある。植物に興味のある人にとって、花束のような美術本として、見て楽しめる本だと思う。もし植物が好きだったら、ぜひこの本を読んでみてください。

身の丈に合った生き方の提案

辻本 尚弥(健康・スポーツ科学センター教員)

生物学的文明論

本川 達雄 著
新潮社

¥740 (税別)

本書は、ナマコの研究者で「歌う生物学者」である本川先生の書いた文明論です。しかし、難解な「文明論」ではなく、生物学的視点から水や資源、社会の高齢化などについて平易な言葉で語るように書かれています。本書は、サンゴやナマコといった、海の中に「いる」ようにだけ見える生き物を、ずっと見続けてきた人だから話せる有益なヒントが多く書かれています。また第十章では、ヒトの生物学的寿命は約40年で、その後は必要のない余分な時間であると著者は書いており、続けて、ではその余分な時間を自分のまわりの人々や社会のために、どう有益に使うのかについての私見も述べています。この章は、自分の老後をどう有意義に過ごすのかについて考えるよいきっかけとなるのではないのでしょうか。生物多様性や生物のサイズ、骨格と水の話など、面白い話も多々出てきます。「ナマコ天国」という歌の楽譜もついています。是非読んでみて下さい。

旅の本質は出会いの連続性

辻本 尚弥(健康・スポーツ科学センター教員)

Walkabout

竹沢 うるま 写真・文
小学館

¥3,200 (税別)

著者は、約3年間で北米、南米、南極、アフリカ、ユーラシアの5大陸のさまざまな国と地域を旅した写真家です。著者を初めて知ったのは、中国国内での非人道的な事件について記したブログの記事です。その場にいる危険を知りつつも自分の意見を鮮明に、かつ事実を正確に書いていることに感銘しました。私は、そのブログを読んでいるうちに、文章もさることながら掲載されている写真に目を奪われました。本書は撮られた写真を厳選して編まれた写真集です。人とカラー写真はあまり得意ではない私ですが、この写真集は、被写体や構図に色がしっくりあっているなと思いました。訪れた場所の、人や街並、雑踏や風の音、匂いが色として出ています。時おり出てくるモノクロの写真も、よいアクセントになっています。訪れたい場所が、まちががなく増えてしまう写真集です。まずは手に取ってゆっくり眺めてください。そして著者の「あとがき」は是非読んでください。

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

言語・教育

自己啓発など

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

自分の視線の先を探求し続ける

辻本 尚弥(健康・スポーツ科学センター教員)

凧の片(なぎのひら)

須田 一政 著
冬青社

¥2,800 (税別)

本書は、東京都写真美術館で行われた展覧会の図録として出版されたものです。一枚一枚のモノクロ写真は、少し粒状感のあるややハイコントラストで、ストレートなスナップ写真で、昔の言い方では「エッジの効いた」、今で言えば「クール」な写真集です。一つ一つの写真をさっと見ると、いたって普通というか別段の違和感を感じません。しかし数ページをめくったあとに手を止めて、またもう一度振り返って見たくくなります。そういう見方を何度も繰り返していると、「ここでなにかあったのだろうか」とか「この先なにが起こるのだろうか」といった不思議な不安感を抱くようになります。意識には強烈にのぼってこない違和感があり、なんか「ざわざわ」とした感じを受ける、いわば癖になる写真集です。好き嫌いがはっきりする写真集ではないかと思います。試しに一度手に取って、眺めてみて下さい。

新しい命の大切さ、家族のぬくもり

伊藤 愛莉(法学部学生)

3・11に生まれた君へ

「君の椅子」プロジェクト編
北海道新聞社

¥1,600 (税別)

2011年3月11日に起きた東日本大震災によって、多くの命がなくなりました。その一方で、新しい命もまた生まれました。この本には、大震災の日に赤ちゃんを産んだお母さんや家族の人たちの話が書かれています。私はこの本を読んだときとても感動しました。地震がおきているなか出産しなければいけない、機械が十分ではないなか出産しなければならない。この先安心して暮らせていけるか分からない。十分な栄養分がないなか赤ちゃんを育てていかなければならない。それでも赤ちゃんに出会うために出産する姿、家族のぬくもり、看護師さんの覚悟、そしてなによりも命の大切さを学ぶことのできる本です。あなたならこの状況のとき自分のことを考えますか？それともこれから生まれてくる新しい命のために苦しい状況で赤ちゃんを産みますか？

自動車産業を生き生きと描く

陳 ビン (留学生別科学生)

電気自動車ウォーズ

日産・三菱・トヨタ・ホンダのエコカー戦略

塚本 潔 著

朝日新聞出版

¥1,600 (税別)

初めてこの書名を見たとき、強いショックを受けた。なぜかという、伝統的な自動車産業や新型の自動車産業における競争を、戦争にたとえて、本当に生き生きと描写しているからである。

この本が描こうとしているのは、近年の日本の自動車産業の巨大な変遷である。日本の4大自動車メーカーの間の発展と競争を元に、従来の自動車からエコカーへの研究を記述している。

日本は世界で売り上げトップの自動車メーカーを有し、自動車産業の発展をリードしてきた。他の自動車メーカーに対向するため、近年、新型自動車、エコカーの研究分野で甚大な努力をしつつ、開発していった経緯が詳細に記述されている。また、エコカーを開発する中で、画期的な構想のもとで行ったおもしろい実験についても書かれている。

—自動車ファンとして、この本を推薦したい。この本は新しい自動車の世界にみんなを誘ってくれるだろう。

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

安全を守る口ぐせ

百武 伸 (法学部学生)

どんな問題も「チーム」で解決する

ANAの口ぐせ

ANAビジネスソリューション 著

KADOKAWA

¥1,400 (税別)

リーマンショックとともに全世界の経済が沈んでいく中、このANAという大グループは右肩上がりの成長を遂げている。幾度となく訪れたピンチを乗り越えたこの大グループの原動力は、ただの口ぐせだった。その口ぐせの数々は、一見実におせっかいにしか聞こえない。だが飛行機業界であるANAにとって、一番求められているのは安全性。だから、このANAのおせっかいな口ぐせの数々がどのように社員、グループに影響していくのか、そこに注目してもらいたい。例を挙げると、「あれっ大丈夫？」このひと言があるのと、「まあ、いいか」で終わらせるのは、どちらがいいか。当たり前のことだが、実は現代の社会人は、この「大丈夫？」と言う言葉をほとんど言わないらしい。事故が許されない社会で生き抜くためにはこのようなおせっかいな口ぐせがいかに大事が気づかされる1冊になっている。

言語・教育

自己啓発など

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

少年の犯罪を考える

浦河 風音(法学部学生)

死刑でいいです 孤立が生んだ二つの殺人

池谷 孝司 著
新潮社

¥630 (税別)

「死刑でいいです」。全く反省の色を見せず真実を一切語ろうとしなかった山地悠起夫は、2009年、25歳の若さで死刑執行。この世を去った。山地は16歳の時に母親を殺害し、5年後再び大阪の姉妹刺殺事件を犯した。幼少の頃、複雑な家庭環境で育ち、人と馴染めずキレやすい性格だった山地は母親殺害後の精神鑑定からアスペルガー症候群と診断された。障害があるからという理由で犯罪を犯したわけではない。しかし、もっと周りの人々が山地の障害を認識し理解することができていれば、事件を防ぐことは可能だったのではないだろうか。また、山地のように死刑を望む加害者への死刑判決が果たして加害者への本当に的確な判決と言えるのだろうか。

近年も残酷な少年犯罪が後を絶たない。どのようにして少年犯罪を防ぐべきなのか。弁護士や家庭調査官、精神科医等の専門家の意見を交えながら、少年犯罪や知的障害者犯罪について様々な視点から考えることのできる一冊である。

新しい命の大切さ、家族のぬくもり

宮崎 俊輔(法学部学生)

命のバトンタッチ 障がいを負った犬・未来

今西 乃子 著
岩崎書店

¥650 (税別)

障害を持った「未来」という捨て犬の物語。捨て犬の里親ボランティアの活動を行なっている麻里子。ある日、動物愛護センターに顔を出した麻里子の眼に映ったもの、それは、数十頭もいる捨て犬達だった。

その中でも、特に麻里子の目をひいたのは、生後1ヶ月足らずにも関わらず、右足の足首から下と左足のほとんどの指が切断され、右目も切られているという悲惨の仔犬だった。こんな状況でも、この仔犬は生きようとしていたのである。

里親ボランティアをしている麻里子は何とかしてこの仔犬を救いたいと思い、引き取ることに。麻里子はこの仔犬の名前を愛護センターにいた犬達の未来を願って「未来」と名付けた。ボランティアのホームページで「未来」のことを載せると里親になりたいという人もいたが、「未来」は障害を持っているため実際はなかなか里親は見つからなかった。

果たして、里親はみつかるのだろうか。「未来」はこの先どうなるのだろうか。

ディズニーランドの強さの秘密

井上 花々香(商学部学生)

ディズニー魔法の会計

秦 美佐子 著
中経出版

¥1,400 (税別)

ディズニーランドの強さの秘密を、サービスの質以外の点から見る事ができる本です。ディズニーランドが大好きな一人の女の子、ミキが、ディズニーランドの入社試験の面接を受けるところから始まる。面接官とミキとの面接の中での会話で、私たちが普段気付かないようなディズニーランドの運営の秘密についての話がたくさん出てくる。第一章の、ディズニーランドはなぜいつも満員なのかについては、立地編、イベント編、希少編など、短いテーマに分けて説明がある。会計は数字だけで苦手意識を持つ人も多いと思う。だが、会計が苦手な人でもディズニーランドが好きな人にとっては、会計に抵抗を持たずに学ぶことができる。

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

冤罪事件の真実が、いま明かされる

辻本 尚弥(健康・スポーツ科学センター教員)

争うは本意ならねど

ドーピング冤罪を晴らした我那覇和樹と彼を支えた人々の美らゴール

木村 元彦 著
集英社インターナショナル

¥1,500 (税別)

本書は、Jリーグの2007年シーズンに起こった「ドーピング冤罪事件」についてのドキュメンタリーです。前年の日本代表選手のドーピング疑惑ということで、当時は大きなニュースとしてとりあげられました。しかし、事件の経過と疑われた選手のその後について気に留めた人は少なかったのではないのでしょうか?本書を読むと、世界的なスポーツであるサッカーを支える組織が、未だに多くの問題を抱えており、国際的で民主的な…とは言えないことがわかります。淡々と事実を記すことで、今に続く解決せねばならない多くの問題を提示しています。理不尽な事に腹の底から怒りをおぼえる部分もあります。しかし、選手と現場で選手を支える人達のすばらしさに涙が出るほど感動します。スポーツに関わっている人、関わろうと思う人にとって、必読の書といっても過言ではないと思います。是非読んで下さい。

言語・教育

自己啓発など

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

日本経済、まるわかり！

塚崎 公義 (商学部教員)

増補改訂 よくわかる日本経済入門

塚崎 公義 著
朝日新聞出版

¥820 (税別)

日本経済の事は、様々なニュースなどで知っているつもりでも、全体像を知っている人は少ないものです。それは、日々のニュースが「日本経済の全体像を理解している人のための追加的な情報」だからです。

そこで、拙著の御紹介で恐縮ですが、経済ニュースを理解するために必要な経済の常識を幅広くカバーした本書を早いうちに一読しておく事をお薦めします。経済の事を知らない人が読んでも理解しやすいように、できるだけわかりやすく書いたつもりですので、とにかく一度、手に取ってみてください。

日本経済について基本的なことを理解しておくことは、就職活動に際しても重要です。皆さんの多くは企業に就職することになるので、日本経済がどのように動いているのを知り、経済のニュースを読んで理解しておく必要があるのです。就職するためばかりではなく、就職してからも日本経済の知識は役に立つ事が多いはず。是非一読を。

世界の環境政策と日本

池田 富見子 (国際交流センター教員)

グリーン経済最前線

井田 徹治 / 末吉 竹二郎 著
岩波書店

¥760 (税別)

多くの日本人は、日本は「環境に関しては、進んだ技術を有し、他国よりも進んでいる」と考えているのではないか。留学生を相手に日本語を教えながら、日本の環境政策や省エネについて、胸を張って述べる人が多い。

しかし、筆者の一人、井田は、このような考えは既に「空虚な言説」であるとし、日本は「再生可能エネルギー・ビジネスで負け組となりつつある」と説く。「環境負荷が大きい20世紀型の経済」である「ブラウン(茶色)の経済」に対し、「自然環境と調和した新たな経済」を目指した「グリーン(緑色)の経済」は、実は世界中で急速に拡大しているようだ。本書では、先進国にとどまらず、中国、南米やアフリカなどの発展途上国で着実に進んでいる環境政策が紹介されている。

日本は、天然資源がないと嘆くよりも、再生可能エネルギー・ビジネスをどのように経済チャンスととらえ、展開していけるのか、本書にはそのヒントが多く隠されている。

白眉の日本人論

河内 千栄子(法学部教員)

日本の「運命」について語ろう

浅田 次郎 著
幻冬舎

¥1,200 (税別)

著者の「プリズンホテル」で抱腹絶倒し、「壬生義士伝」で感涙し、「終わらざる夏」で戦争の理不尽さに憤ったのだが、本書は「終わらざる夏」に深く関係する浅田次郎による日本の近現代史解説である。という一見暗く難解だと思われるテーマだが、もともと本書は講談録であり、自称「話し好き」の著者が読者を飽かさないように語っているのでご安心。教科書にはない切り口で日本の150年の近代史をわかりやすく語りながら、現代を生きるわたしたちの「座標」を示す。日本はなぜ260余年も対外戦争のない平和が続いたのか、アヘン戦争はなぜ起きたのか、尊王攘夷思想から倒幕、明治政府はいかにして近代帝国を造ったのか、日清、日露戦争に勝利して日本は何を得たのか、なぜ「終わらざる夏」の舞台である占守島での戦闘(戦争が終わった後のソ連軍の攻撃)が起きたのか。近代史に自信がない人には驚きと発見に満ちた本となるだろう。

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

20世紀の偉大な発明、GDP！

山田 和敏(経済学部教員)

GDP〈小さくて大きな数字〉の歴史

ダイアン・コイル 著
みすず書房

¥2,600 (税別)

「興味深い一冊、おもしろい！」というのが正直な感想である。本書の狙いは、「GDPとは何か」を明確にすることである。もちろん、本書は単なる初学者向けの入門書ではない。

GDPは経済活動の成果を示す1つの数字に過ぎないが、それ自体が大きな影響力を持っていることも確かである。本書は、歴史を辿りながらGDPが誕生した背景、その重要性と影響力を、数多くのエピソードを通して、「GDPの本質」を鋭い分析力で解説する。

ギリシャの財政問題は、同国のGDP偽装が明らかとなって顕在化した。アフリカの低所得国ガーナは、新しい手法でGDPを再計算したら、1日にして「中位低所得国」にランクアップしてしまった。もし、アフリカの諸国が同様の再計算を実施したなら、「貧しいアフリカ」のイメージは払拭されるかもしれない。日本でも、2008SNAによるGDP統計値が公表されようとしているいま、本書を通して、「GDPとは何か」を数式無しに再考する良い機会である。

言語・教育

自己啓発など

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

地理的表示制度の活用方法

梶原 晃(商学部教員)

農林漁業の産地ブランド戦略

—地理的表示を活用した地域再生

香坂 玲 著
ぎょうせい

¥2,800 (税別)

「特定農林水産物等の名称の保護に関する法律」(いわゆる地理的表示法)が2015年6月に施行(2014年6月25日公布)されることを受け、2015年4月に制度のポイントを整理した「地理的表示活用ガイドライン」が農林水産省より公表された。本書は、編者を含め、ガイドラインを作成した委員会メンバーが中心となり、地理的表示制度の概要とその活用方法について具体的な事例を取り上げ、ガイドラインに書ききれなかった部分も含めて解説する内容となっている。豊富な事例で「産地戦略」の立案方法についても、自治体や生産者への参考となる情報も盛り込む。お茶、い草、豆など九州の事例も数多く含まれている。

本書が読者、特に地方自治体で活躍する人材に訴えているのは、地理的表示などの制度の概要を知るだけでなく、「取った後」のことだ。安易なノウハウだけではなく、何らかの認定や登録を受けて登録された後、どのようにそれを活かしていくのか、どのような体制を築いていくのか、といったマネジメントや戦略まで考えていく必要があるという点が強調されている。

発達障害を知ろう

川鍋 佑太(文学部学生)

発達障害の基本理解

子どもの将来を見据えた支援のために(発達障害の臨床的理解と支援 1)

山崎晃資・宮崎英憲・須田初枝編
金子書房

¥2,800 (税別)

発達障害をもった人は生活の一部に問題を抱えている。健常者とともに社会生活を送ることが困難であるケースも少なくない。日本では、そのような人たちがより社会で生活しやすくするための法律が作られたり、「特別支援教育」が実施されたりするなど様々な取り組みが行われている。また、私たちと関わりが薄いと考えられているが、約2.7%の人が発達障害を抱えている(平成23年5月 文部科学省)。そのため、これからそのような人たちと接する機会があるかもしれない。この本には、そんな時どうすれば良いかがわかりやすく具体的に記されている。

日本では、様々な取り組みが行われているとはいえ、障害を持った人々が生活をしていく中で未だ多くの問題を抱えている。この本では、4人の専門家によって今の発達障害に関する課題やどのように課題を解決していけば良いのかが述べられている。題名にもあるように「子どもの将来を見据えた支援のために」、またこの課題が直面したときに私たちを救ってくれるのがこの本である。

気軽に読める言語比較論

肖 雯 (留学生別科学生)

ケジメのない日本語 (もっと知りたい！日本語)

影山 太郎 著
岩波書店

¥1,500 (税別)

物語を読みながら、言語、たとえば日本語を、または英語を学びたい？しかし、専門書は難しく、取っつきにくく、読みたくない。そんな人は、この本を読んでもたらどうだろうか。

「ケジメのない日本語」というのは境界線がない日本語のことである。なぜ境界がないと言われるのか、その答えはこの本の中に書かれている。

この本は物語のような例を挙げて、日本語と英語との違うところを説明している。そのため、理解しやすいし、おもしろい。英語のことが全然わからなくても、読めると思う。また、一つのことを説明するとき、2、3の例を挙げて説明してあるので、一つの例に興味がなくても、別の例を読めばわかるようになっていく。

さらに、各章はあまり相互の関連性がないので、自分が好きな部分から読み進めればよい。時間がない人も気軽に読めると思う。日本語のことを英語の世界から観察することができる1冊である。ぜひ、一度手に取って読んでみてほしい。

ネイティブに近づこうは大間違い

島村 恭輔 (外国語教育研究所教員)

英語の害毒

永井 忠孝 著
新潮社

¥720 (税別)

挑発的な書名である。長年英語で英語に苦しめられている多くの英語学習者にとっては、溜飲が下がるような思いを期待してこの本を手取る人もいるかもしれない。確かに、巷を席卷している数多くのハウツー本、語学学校や教材の言葉巧みな宣伝、小学校での英語必修化、いかに英語が就活で有力なスペックとなりうるか等、私たちを取り巻く現状を振り返ると、この本はその真逆の考え方を敢えて示している。

しかしながら、ともすれば偏りがちな他の英語攻撃論とこの本が一線を画しているのは、著者が単なる持論の主張に終始せず、多くのデータや参考文献を用いながら説得力を持って論旨を展開しているからである。また単に問題点を提起して終わるのではなく、では日本の英語教育はどのように進めていくべきかについての著者自身の提案が提示してある点は興味深い。一番の問題点は、盲目的に「英語」に踊らされることであり、改めて日本人と英語との関係を一度立ち止まって考える機会を与えてくれる善書である。

地に足のついた反グローバル化の書

佐々木 拓雄(法学部教員)

英語化は愚民化－ 日本の国力が地に落ちる

施 光恒 著
集英社

¥760 (税別)

グローバル化に抗い、日本が独自の道を歩むことを提言した本は多くある。読むと、とにかく自民族への過大な評価や根拠薄弱な主張がくり広げられていて、うんざりさせられるのだが、本書はその点、地に足のついた白眉の一冊だといえる。

本書がおもに論じるのは、昨今、官の力で進められている「英語化」の弊害である。早期英語教育ばかり、大学の英語(による)講義ばかり、「日本人の国際的競争力を高める」という理由で実行される「英語化」を、著者は、国家百年の愚策であると批判する。そして、自身の専門領域(政治哲学)に立脚しつつ、その論拠を明らかにする。

全編にわたりそれぞれ退屈な箇所はないが、とくに触れてもらいたいのは、欧・日の歴史をめぐる記述(2・3章)である。「土着語」と「翻訳」による知の探求こそが、地域をこえた近代化の原動力であったことがよくわかり、本書全体への理解につながる。

あなたには生きがいがありますか

宮里 紗英(文学部学生)

明日を生きる「自分へのメッセージ」 涙の数だけ大きくなれる！

木下 晴弘 著
フォレスト出版

¥1,300 (税別)

この本は10編の実話が収録された一冊です。何のために勉強するのか、何のために働くのかという答えを知りたい人の本だと思います。

たとえば「あるレジ打ちの女性」についての話が紹介されています。サークルも会社も続かず、仕事を転々としてきた女性がいました。いつの間にか、彼女の履歴書には多くの職歴が並び、彼女を正社員として雇う会社はなくなっていました。そんな時、レジ打ちの仕事がまいこできます。レジ打ちの仕事を楽しくしてみようという発想から彼女はレジ打ちの特訓を始めます。次第にお客さんと会話をしながら仕事ができるようになり、働くことが生きがいへと変わっていきました。

一つ一つの話は短いですが、どの話も心を動かされます。読み始めたときと読み終わった時の自分は大きく変わると思います。目標を見失ってしまった人や熱中して打ち込むことが見つかからない人にとっても、この本はヒントを与えてくれるかもしれません。自分を変えたいと思っている人はぜひ手にとってみてください。

本当は「時間がない」のか

李 ジュエ (留学生別科学生)

「忙しい」「時間がない」をやめる9つの習慣

和田 秀樹 著

大和書房

¥600 (税別)

時間が足りない！この何もかも忙しい時代のなかで、このような考えを抱いている人は、少なくないのではないだろうか。私もときどき休日に、なにもしないのに、丸一日がたってしまったことがある。毎日、時間に追われるように過ごしており、一日が24時間では足りないと感じるもある。しかし、本当に私たちは「忙しい」「時間がない」のだろうか。

その答えは、この本の中に書かれている。この本は9つの習慣から、なぜ時間がなくなったのか、どうすれば時間を節約できるのか、このような「時間に追われない」方法を具体的に教えてくれている。仕事ができない、勉強できない。それは能力がないからではなく、時間の使い方が下手だからということらしい。

あなたもこのようなことで悩んでいませんか。そうだったら、ぜひこの本を手にとって、自分に合った時間術を作ってみよう！

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

頭を使って勝つ

藤田 卓 (法学部学生)

「弱くても勝てます」
開成高校野球部のセオリー

高橋 秀実 著

新潮社

¥1,300 (税別)

長年に渡って東京大学合格者数日本一を誇る超進学校の開成高校。その野球部が2005年東京大会でベスト16に入った。超進学校であるのになぜここまで勝つことができたのか。それには、進学校ならではの戦略があった。その戦略とは「相手より点数を取れば勝つ」という打ち勝つ野球であった。守備が悪くても、それ以上の打撃を強化したのだ。確かに守備は1試合で各ポジションには数球しか飛んでこない。そのために守備練習に時間を割くより、打撃練習を多くした方が勝つ確率は上がると考えたのだ。その背景には野球のセオリーには囚われない独自の練習方法や考えがある。私はこの本を読んで、弱くても頭を使い、どうしたら勝てるのかを考えることで強い相手でも勝つことが出来るのだということを学んだ。

言語・教育

自己啓発など

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

図書館を使いこなすのは大学生のあたりまえ

ウェブサイトを活用して

図書 雑誌

図書・雑誌を探すときには
OPAC (蔵書検索)

御井図書館・医学図書館の図書、雑誌の書誌・
所蔵情報を検索できます。

雑誌 論文

雑誌論文を探すときには
CiNii Articles (サイニイ アーティクルズ)

日本の学術論文情報を探すことができます。
一部の論文は本文まで読めます。

新聞 記事

新聞記事を読むときには
新聞記事データベース

朝日新聞、読売新聞、西日本新聞の新聞記
事を検索することができます。

*2016年4月より毎日新聞も検索できます

辞書 事典


調べ物のときには
Japan Knowledge Lib (ジャパンナレッジ)

日本国内の約50種類以上の百科事典・辞書
を一括して検索できます。

調査 相談

「何を使って調べたらいいかわからない」
「探している資料はどこにあるかわからない」
そんなときには
レファレンス (調査相談) サービス

1階レファレンスカウンターもしくは
Web (フォーム) で受付しています。
お気軽にご相談ください。



久留米大学
御井図書館

図書・雑誌を図書館で探す

OPAC(蔵書検索) / マイライブラリ / CiNii Books /
NDL-OPAC / Webcat Plus / 久留米市立図書館

図書をオンライン書店で探す

honto / amazon.co.jp / Books.or.jp
日本の古本屋 / スーパー源氏
BOOK TOWNじんぼう

雑誌の論文・記事を探す

CiNii Articles / 雑誌記事索引集成(戦前)
雑誌記事索引(戦後)(NDL-OPAC)
magazine plus / Web OYA-bunko / Scopus

新聞の記事・写真を見る

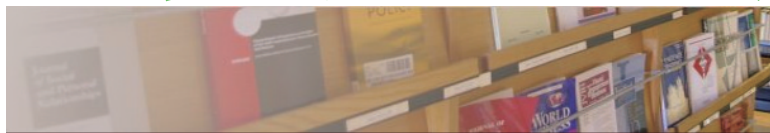
聞蔵Ⅱビジュアル(朝日新聞)
ヨミダス歴史館(読売新聞)
パピルス(西日本新聞)
日本経済新聞電子版(バブルック) / 佐賀新聞
神戸大学新聞記事文庫 / 毎日フォトバンク
よみうり写真館 / 御井図書館で購読中の新聞一覧 /
press reader

その他の学術研究用ツール

国立国会図書館サーチ(NDL Search)
日外e-レファレンス・ライブラリー
Japan Knowledge Lib / Google Scholar /
TKC法律情報データベースLEX/DB
第一法規法情報総合データベースD1-Law.com /
法律文獻総合INDEX / Westlaw Next
JURIS Online / メディカルオンライン
医中誌Web / PubMed / 流通情報
総合企業情報データベースeol
OECD iLibrary / 国際問題 / J-STAGE
KAKEN: 科学研究費補助金データベース
インターネット版「官報」 / 都道府県統計書
白書・年次報告書 / e-Stat(政府統計の総合窓口)
◆電子ジャーナル・電子ブック検索
◆文献管理ツール: RefWorks / Mendeley /
zotero

>久留米大学学位論文一覧
>データベース一覧

図書館の達人になろう



お知らせ

- ▶ 2016/01/05 春季休暇期間中の長期貸出について **NEW**
- ▶ 2015/12/17 利用者用パソコンのメンテナンスについて
- ▶ 2015/12/15 御井図書館ニュース(No.90)を公開しました
- ▶ 2015/11/25 INDB大規模統計Finderトライアルについて

[>>過去のお知らせ](#)

カレンダー

2月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

- 8:45~21:00
- 10:00~18:00
- 9:00~17:00
- 休館日

▶ 開館カレンダー [2015年度](#)
[2016年度](#)

- 図書館
利用案内
- 御井図書館
ニュース
- 知の玉手箱
- ハーウッド
文庫
- 学内専用
- レファレンス(調査相談)
・お問い合わせはこちら
- 利用者
アンケート
- 久留米大学
学術機関リポジトリ
- 久留米大学
デジタルアーカイブ

春季休暇期間中の長期貸出について

(2016/01/05)

下記期間中に借りられた図書の返却期限は、
一律 **4月15日(金)**となります

【学部学生】

2016年1月18日(月)~ 2016年3月31日(木)

【大学院生・研究生等】

2016年1月18日(月)~ 2016年3月14日(月)

※ただし、3月卒業予定の方や学生証の期限が3月末までの方は2016年2月29日(月)迄に必ず返却してください。

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

言語・教育

自己啓発など

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

久留米大学の所蔵する資料を探す OPAC（蔵書検索）を使ってみよう！

簡易検索画面

久留米大学附属図書館

検索条件入力

※詳細検索で対象データベースを「NACISIS目録」にした場合の検索対象項目は、「キーワード」、「ISBN」、「ISSN」、「NCID」のみとなります。

検索

対象データベース： 本学所蔵 NACISIS目録

資料の種類： 図書 雑誌 AV資料 電子出版物 雑誌巻号

分館指定： 御井図書館 医学図書館

一覧表示方法：タイトル種 10件ずつ

NACISIS目録にチェックすると
他大学の所蔵を検索できます

検索結果詳細画面

大学生の文章術：レポート・論文の書き方 [目次あり](#)

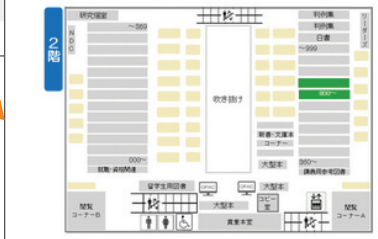
ダイカクセイノブシヨウジュツ：レポート ロンポンノカキカタ
旺文社編
[東京]：旺文社，[2015.4]
Amazon.co.jpで詳細を見る

貸出中の場合は
予約ボタンから予約できます

所蔵	巻号	予約人数	刷新	所在	請求記号	資料ID	貸出区分	状況	備考
<input type="checkbox"/>	目次あり	0		御井図書館／2階閲覧室	816.5 O14da	10775737		貸出中(2016/04/15)	
				御井キャンパス／文学部研究室	816.5 O14da	10778328			

所在の文字をクリックすると
地図が表示されます

書名、所在、請求記号を
メモをして書架へ行きましょう。
* 状況欄が貸出中の資料は書架にありません。



学生リクエストサービスについて

利用したい図書が所蔵されていない場合、また研究室のみに所蔵されている場合などは、学生からの購入希望を受け付けています。貸出・返却カウンターに『図書リクエスト票』がありますので、必要事項を記入し、提出してください。

* 図書が利用可能になりましたら、学内メールで申込者に通知します。

🔍 マイライブラリを活用しよう！

マイライブラリでできること

- 貸出・予約状況照会
- 文献複写等の依頼状況
- 貸出期間の延長
- 貸出履歴の確認

- * 他の利用者の予約がある場合や返却期限を過ぎている場合、貸出期間の延長はできません。
- * 延長処理日から2週間(学部生の場合)の延長となります。

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

言語・教育

自己啓発など

ウェブサイトを
活用して
図書館の達人になろう

御井図書館の利用について

開館時間

	曜日	開館時間
授業期間・試験期間	月曜日～金曜日	8:45～21:00
	土曜日・日曜日	10:00～18:00
長期休暇期間	月曜日～金曜日	9:00～17:00
	土曜日・日曜日	10:00～18:00

※長期休暇期間とは、学生の夏季・冬季・春季休暇期間を指します。

〈休館日〉 国民の祝日、本学創立記念日、お盆休み(8月15日)、年末年始
※開館時間の変更・臨時休館については、ホームページにてお知らせします。

貸出

借りたい図書と「学生証」を1階の貸出・返却カウンターへお持ちください。
*延滞資料が1冊でもある場合は、新規の貸出ができません。

	貸出冊数	貸出期間
学部学生	10冊	14日以内
大学院生	20冊	1ヶ月以内

返却

借りた図書は期限内に貸出・返却カウンターへ返却してください。
延滞した場合は、延滞日数によって貸出停止のペナルティが科せられます。
*図書館が閉館しているときは、正面玄関横の「ブックポスト」へ返却してください。

久留米大学 [御井図書館]

知の玉手箱 2016

[発行] 久留米大学 御井図書館